会議概要(平成28年7月5日)

案 件 議会活性化推進委員会の今後の進め方について、その他

1 あいさつ

議会活性化推進委員会を開催するにあたり、坂口委員長よりあいさつ。 委員席について確認後、各委員の自己紹介。

2 明石市議会活性化推進委員会の設置規程について 事務局より、別紙「明石市議会活性化推進委員会設置規程」に基づき説明、確認。

3 今後の進め方について

(1) 議会報告会について

事務局より、議会報告会について、常任委員会ごとのテーマ型報告会を引き続き行うこと、司会進行のルール作りを行うことを昨年度の議会活性化推進委員会より申し送りを受けている旨を説明。

また、別紙「議会報告会について」に基づき説明。本日出た意見を各会派に持ち帰り、次回、今年度の実施方法について協議を行うことを確認。

各委員からの意見は以下のとおり。

- ・地域で疑問に思っていることなど、意見が出やすいテーマにすべきである。全体での報告会は必要ないのではないか。
- ・少なくとも3カ所で報告会を実施したい。司会者のルールを作るべき。
- ・常任委員会ごとのテーマ型報告会では相手方を探すのが難しくなってきている。将来的には28小学校区での報告会の実施を目指したい。
- ・常任委員会ごとのテーマ型報告会、全体での報告会ともに必要である。市民 との自由なやりとりがないと市民が傍聴に来ないのではないか。
- ・常任委員会ごとのテーマ型報告会の相手方については、同じ団体と続けて行ってもよいのではないか。
- ・さまざまな会派があり意見もばらばらであるため、個人的な見解を述べることができない全体の報告会は難しいのではないか。
- ・全体での議会報告会については本来は報告がメインではないか。

(2) 議員間討議について

事務局より、議員間討議について、テーマを決めた議員間討議をまずは委員協議会などで行い、検証を重ねた上で進めることを昨年度の議会活性化推進委員会より申し送りを受けている旨を説明。

また、別紙「議員間討議について」に基づき説明。本日出た意見を各会派に持 ち帰り、次回、協議を行うことを確認。 各委員からの意見は以下のとおり。

- ・まずはテーマを決めて議員間討議を試行してみるべきである。
- ・議員間討議を行う際は理事者がいない方が意見が出やすいのではないか。
- ・議員間討議の際に理事者に確認すべき事項もあるのではないか。
- ・議員間討議を行うのにふさわしい議題のある時に試行してはどうか。
- ・議員間討議を行うことにより、議員の考えの一致する点と違う点が市民にとってわかりやすくなるので試行すべき。
- ・会派制をとっているので議員間討議を行っても意見が変わることはないので はないか。
- (3) その他検討項目について 委員会のインターネット配信についても次回協議を行うことを確認。

4 その他

委員より、議会基本条例の検証についても今後、議論してほしい旨の申し出あり。

5 次回活性化推進委員会の開会日時について 9月2日(金)10時からとすることを確認。

以上